

産業廃棄物行政組織等調査 調査票C			
記入者氏名		パスワード	

↑

調査票記入要領に記載の6文字のパスワードを入力してください。

令和6年度	NO.26(1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条第9項、第10項)

(1) 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画書等

該当なし	
------	--

←調査項目に該当せずに空欄で提出される場合は、「○」を記入してください。

業種		計画書提出事業場数	実施状況報告書提出事業場数
1	農業、林業		
2	漁業		
3	鉱業、採石業、砂利採取業		
4	建設業		
5	製造業		
6	電気・ガス・熱供給・水道業		
7	情報通信業		
8	運輸業、郵便業		
9	卸売業、小売業		
10	学術研究、専門・技術サービス業		
11	宿泊業、飲食サービス業		
12	生活関連サービス業、娯楽業		
13	教育、学習支援業		
14	医療、福祉		
15	複合サービス事業		
16	サービス業(他に分類されないもの)		
17	公務(他に分類されるものを除く)		
18	その他(1～17に該当しないもの)		
計		0	0

\*「業種」について

「日本標準産業分類」が平成19年11月に改定され、大分類において、「学術研究、専門・技術サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」が新設されました(平成25年に再改定がありましたが、大分類中分類に変化はなし)。一方、林業は「農業、林業」の業種となりました。

旧分類で計画書や実施状況報告書を受け取っている場合は、Q分類のサービス業の割り振りについて、①多量排出事業者の業態が明らかであれば、新分類の項目に割り振ってください。②業態が不明であれば、新分類のRサービス業として提出ください。「記入にあたって」をご参照ください。

主な改定内容は、シート「新旧対照表」をご参照ください。  
中・小・細分類項目新旧対照概要表は、総務省統計局

総務省統計局「中・小・細分類項目新旧対照概要表」

[https://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/index/seido/sangyo/19-5.htm](https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/19-5.htm)

注1 計画書提出事業場数 : 産業廃棄物処理計画を作成し報告された事業場数である。(令和6年6月30日までに提出することとなっている計画書の提出のあった事業場数)

注2 実施状況報告書提出事業場数 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書を作成し報告された事業場数である。(令和6年6月30日までに提出することとなっている実施状況報告書の提出のあった事業場数)

令和6年度	NO.26(2)－ 1 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

1) 農業、林業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－ 2 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

2) 漁業

単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－3 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

3) 鉱業、採石業、砂利採取業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動 植 物 性 残 さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動 物 の ふ ん 尿															
動 物 の 死 体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－ 4 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

4) 建設業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動 植 物 性 残 さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず 及び 陶 磁 器 く ず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動 物 の ふ ん 尿															
動 物 の 死 体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.26(2)－ 5 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

5) 製造業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－ 6 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

6) 電気・ガス・熱供給・水道業 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動 植 物 性 残 さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず 及び 陶 磁 器 く ず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動 物 の ふ ん 尿															
動 物 の 死 体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－ 7 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

単位:トン／年

7) 情報通信業															
廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.26(2)－ 8 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

8) 運輸業、郵便業 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－9)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条第9項、第10項)  
(2)多量排出事業場の産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の9による実施状況の報告)(令和6年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

9) 卸売業、小売業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち熱 回収を行った 量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により減 量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち優 良認定処理 業者への処 理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動 植 物 性 残 さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動 物 の ふ ん 尿															
動 物 の 死 体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－10)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が①-②+③+⑦+⑨+⑩）、⑨が①-②+③+⑦+⑧+⑩）、⑩が①-②+③+⑦+⑧+⑨）より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

10) 学術研究、専門・技術サービス業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－11)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和6年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が①-②+③+⑦+⑨+⑩）、⑨が①-②+③+⑦+⑧+⑩）、⑩が①-②+③+⑦+⑧+⑨）より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

11) 宿泊業、飲食サービス業 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊維くず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－12)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

12) 生活関連サービス業、娯楽業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.26(2)－13)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

13) 教育、学習支援業 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－14)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

14) 医療、福祉単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－15)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

15) 複合サービス事業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－16)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

16) サービス業（他に分類されないもの） 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃 プ ラ ス チ ッ ク 類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動 植 物 性 残 さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず 及び 陶 磁 器 く ず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動 物 の ふ ん 尿															
動 物 の 死 体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－17)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

17) 公務(他に分類されるものを除く) 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 ア ル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.26(2)－18)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）  
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

18) その他(1～17に該当しないもの) 単位:トン／年

	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への 委託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
廃棄物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.26(2)－19)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条第9項、第10項)  
(2)多量排出事業場の産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の9による実施状況の報告)(令和6年度提出分)

19) 合計

単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アル カ リ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴ ム く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳 さ い		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）

(1) 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

該当なし

←調査項目に該当せずに空欄で提出される場合は、「○」を記入してください。

業種		計画書提出事業場数	実施状況報告書提出事業場数
1	農業、林業		
2	漁業		
3	鉱業、採石業、砂利採取業		
4	建設業		
5	製造業		
6	電気・ガス・熱供給・水道業		
7	情報通信業		
8	運輸業、郵便業		
9	卸売業、小売業		
10	学術研究、専門・技術サービス業		
11	宿泊業、飲食サービス業		
12	生活関連サービス業、娯楽業		
13	教育、学習支援業		
14	医療、福祉		
15	複合サービス事業		
16	サービス業（他に分類されないもの）		
17	公務（他に分類されるものを除く）		
18	その他（1～17に該当しないもの）		
計		0	0

＊「業種」について

「日本標準産業分類」が平成19年11月に改定され、大分類において、「学術研究、専門・技術サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」が新設されました(平成25年に再改定がありましたが、大分類中分類に変化はなし)。一方、林業は「農業、林業」の業種となりました。

旧分類で計画書や実施状況報告書を受け取っている場合は、Q分類のサービス業の割り振について、①多量排出事業者の業態が明らかであれば、新分類の項目に割り振ってください。②業態が不明であれば、新分類のRサービス業として提出ください。「記入にあたって」をご参照ください。

主な改定内容は、シート「新旧対照表」をご参照ください。  
中・小・細分類項目新旧対照概要表は、総務省統計

総務省統計局 「中・小・細分類項目新旧対照概要表」

[https://www.soumu.go.jp/toukei\\_toukatsu/index/seido/sangyo/19-5.htm](https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/19-5.htm)

注1 計画書提出事業場数：産業廃棄物処理計画を作成し報告された事業場数である。（令和 6 年6月30日までに提出することとなっている計画書の提出のあった事業場数）  
注2 実施状況報告書提出事業場数：産業廃棄物処理計画実施状況報告書を作成し報告された事業場数である。（令和 6 年6月30日までに提出することとなっている実施状況報告書の提出のあった事業場数）

令和6年度	NO.27(2)－1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

1) 農業、林業

単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 2 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

2) 漁業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.27(2)－3)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

3) 鉱業、採石業、砂利採取業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況												
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量
廃棄物の種類															
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
感染性廃棄物															
特定有害 廃棄物	廃PCB等														
	PCB汚染物														
	PCB処理物														
	指定下水汚泥														
	鉱さい														
	廃石綿等														
	燃え殻														
	ばいじん														
	廃油 (金属を含むもの)														
	汚泥 (金属を含むもの)														
	廃酸 (金属を含むもの)														
	廃アルカリ (金属を含むもの)														
	廃水銀等														
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－4)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）  
（2）特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

4) 建設業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－5)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

5) 製造業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定 有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－6)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和6年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

6) 電気・ガス・熱供給・水道業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況												
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
感染性廃棄物															
特定有害廃棄物	廃PCB等														
	PCB汚染物														
	PCB処理物														
	指定下水汚泥														
	鉱さい														
	廃石棉等														
	燃え殻														
	ばいじん														
	廃油 (金属を含むもの)														
	汚泥 (金属を含むもの)														
	廃酸 (金属を含むもの)														
	廃アルカリ (金属を含むもの)														
	廃水銀等														
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－7)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

7) 情報通信業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.27(2)－8)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和6年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

8) 運輸業、郵便業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況														
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
感染性廃棄物																	
特定有害 廃棄物	廃PCB等																
	PCB汚染物																
	PCB処理物																
	指定下水汚泥																
	鉍さい																
	廃石綿等																
	燃え殻																
	ばいじん																
	廃油 (金属を含むもの)																
	汚泥 (金属を含むもの)																
	廃酸 (金属を含むもの)																
	廃アルカリ (金属を含むもの)																
	廃水銀等																
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 9 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

9) 卸売業、小売業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 10 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

10) 学術研究、専門・技術サービス業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 11 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

11) 宿泊業、飲食サービス業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定 有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

単位:トン/年

[illegible]

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.27(2)－ 13 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

13) 教育、学習支援業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 14 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。  
 ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示  
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示  
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示  
 ・⑧が①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示  
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示  
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

14) 医療、福祉単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
 注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
 注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 15 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。  
 ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示  
 ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示  
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示  
 ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示  
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示  
 ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

15) 複合サービス事業
 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
 注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
 注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 16 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

16) サービス業(他に分類されないもの) 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間 処理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 17 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

17) 公務(他に分類されるものを除く) 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間 処理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。



令和6年度	NO.27(2)－ 18 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)  
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和 6 年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

18) その他(1～17に該当しないもの) 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。  
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。  
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和6年度	NO.27(2)－ 19 )
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

27. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）  
（2）特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和 6 年度提出分）

19) 合計

単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち熱 回収を行った 量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により減 量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち優 良認定処理 業者への処 理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者 への委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業 者への処理 委託量	⑭⑩のうち熱 回収認定業 者以外の熱 回収を行う業 者への処理 委託量
廃油			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害 廃棄物	廃PCB等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB汚染物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB処理物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定下水汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉍さい		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃石綿等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	燃え殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃油 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	汚泥 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃アルカリ （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃水銀等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。